

②① SAS/SATA用通信データモニター装置

メーカー: LeCroy社、型式: SierraM6-2

■ SAS/SATAプロトコルのテスト、解析が1台で実施可能。

- 転送速度: 1.5/3/6Gbpsに対応しています。
- アナライザ機能、エミュレータ機能を搭載しています。
- SAS/SATAバス間で通信するデータの記録、解析、任意のパケットの編集、送信が可能です。

■ SAS/SATA用通信データモニター装置 (SierraM6-2)

- SAS/SATA通信データを記録することにより、通信不具合、エラーやパフォーマンスの解析を行うことができます。また、エミュレータ機能を使用し、減多に発生しないエラーを容易に発生させることが可能です。
- 特長

以下の項目を実施することができます。

1. 不具合解析

SAS/SATA通信データを記録、表示することにより、通信が始まらない、切断される等の不具合の原因箇所を特定し、解析、改修を容易に行うことができます。

2. エラー解析

SAS/SATAプロトコルに違反している箇所(プロトコルエラー)を一覧表示します。エラーの発生箇所を即座に見つけて、エラー発生原因を解析することができます。

3. パフォーマンス解析

SAS/SATAの通信のパフォーマンス(スループット等)を測定することができます。本来のデバイスの能力と比較しパフォーマンスが低い箇所を特定し、改善につなげます。

4. 任意エラー発生機能

任意のエラーを発生させ、通信相手に送信することができます。エラーハンドリングテストに最適な機能です。

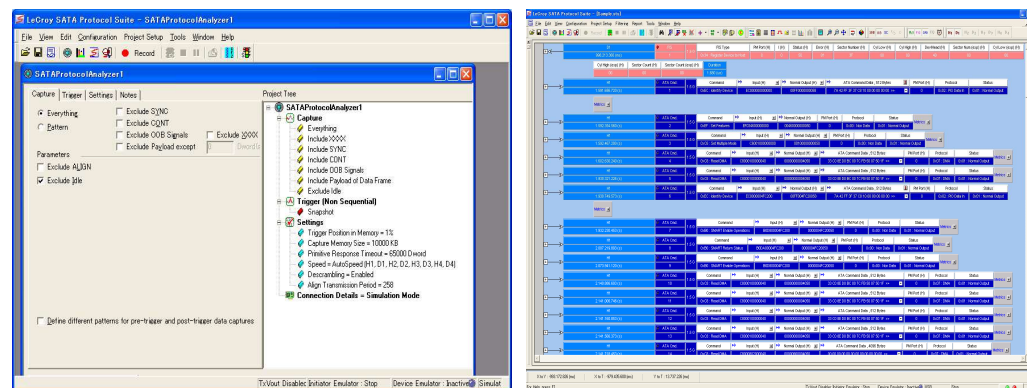


■ SAS/SATAプロトコル

- SAS (Serial Attached SCSI)
パソコン本体と周辺機器の接続方法の仕様の1つです。幅広くサーバに採用されているSCSIの後継にあたり、データ転送能力を向上しています。
- SATA (Serial ATA)
コンピュータとハードディスクや光学ドライブなどの記憶装置を接続するIDE(ATA)規格の拡張仕様の一つ。コストパフォーマンスの高さで普及したIDEやATAの後継にあたります。

■ 主な仕様

- SAS/SATAプロトコルデータを記録、デコード表示
- SAS/SATA準拠のパケット生成、編集、送信機能
- コンプライアンステスト(Digital)実行機能
- 2GBの記録メモリを搭載
- 制御用Windows PCとUSB/GbEで接続
- エラーの一覧表示が可能
- パフォーマンス(スループット)解析が可能
- 最大2リンク



公益財団法人 福岡県産業科学技術振興財団
社会システム実証センター

〒819-1122 糸島市東1963-4

TEL : 092-331-8510 FAX : 092-331-8515

URL : <http://jiss.ist.or.jp/> e-mail : jiss-itoshima@ist.or.jp

